

寺崎尚美さんの部屋



寺崎さんは、津田地区の老人クラブ「つだ未来塾」の会長です。今回、津田小学校の環境美化活動（除草・草刈・剪定）を地域の方をコーディネートして実施なさるということをお聞きし取材しました。

Q 1

今回は、どの組織と連携したのですか。

A

老人クラブ「つだ未来塾」「松原シニア会」と「半田良平顕彰会」です。コロナ前は、児童と一緒に除草作業をしていましたが、それができなくなりました。去年は、「つだ未来塾」だけで行っていましたが、しかし、地域をよくするには、地域をあげてやっていかなくてはだめです。そこで、『小学校という中核施設をまずきれいにしよう』ということで上記の皆さんに声をかけた次第です。また、上の3つの組織以外にも今回は賛助協力者が参加してくれました。



Q 2

シニアの方の活動についてどのように思われますか。

A

多くの市町の高齢化が進んでおり、率としては40%を超えるところがたくさんあります。鹿沼市も30%を超えています。お年寄りが大事にされる時代は終わったのです。高齢者が地域で活躍する時代になったのです。『若い人たちは働いてください。地域のことは任せて。』という気持ちで活動してもらいたいと思っています。そして、とりもなおさず、活躍するということは、幸せなことなのです。

また、高齢者は、自分の体調をよく知っています。年間の計画は粛々と進めますが、参加するかしないかについては、「自分の事は、自分で心配しよう」ということで、各自の判断にお任せしています。



どこかが輝くとその周りが輝く
老人クラブから輝いていこう



Q 3

地域の活性化についてのお考えをお聞かせください。

A

地域はどんどんばらばらになりました。「絆」は、失ってはじめて大切なことを知ります。3・11で我々はそれを切実に知ることとなりました。

有事に備えて、平時に考えておくことが大切なのです。

現在、消防団や自治会の会員が減少し、全国ではPTAがなくなっている自治体もあると聞きました。皆さんが、どんどん地域から離れています。このままだと全ての組織が衰退化します。

そこで、先ほど言った「**老人クラブから輝こう**」を手始めに、地域の活性化を考えています。また、絆づくりという点からも今回の環境美化活動のように、「つなげる」をキーワードに活動しています。

例えば、小学校の環境美化を秋にも実施しますが、植木職人にも声をかけようと思っています。また、自治会全部にも声をかけようと思います。そして、地域全体でやっていくようにすることが活性化につながっていくのだと思います。昨年度から、地内の警察官の方に安全確認のご協力をいただいています。道路際の除草を行う関係からです。

そして、地域の方が集まる機会に皆さんの声に耳を傾けようと思っています。



津田小地域
コーディネーター
の福井さんも
参加してください
ました。

Q 4

津田の魅力を教えてください。

A

「まずやる」精神です。何か行おうとする時、異論をはさむ人がいません。協力してくれます。

「何やってるの？」と声をかけてくれて、参加してくれます。誰かがやっていると、参加しようという気持ちがあります。

「機会の提供」をする人がいれば行動を起こすのです。何度も言うようですが、そのきっかけを老人クラブで、と思っています。

生きることとは、気づくことです。漫然と認識していることと気づきは違うのです。気づき、発想し、行動するのが人間です。

そして、気づいても行動しなければ意味がありません。失敗をおそれず行動することが大切なのです。



この仕事をしていると、たくさんの素晴らしい人に出会えます。今回も「ああ、この仕事をしていてよかった。」と思える方に出会え、たくさんの素敵なお話を聞かせていただきました。

寺崎さん、本当にありがとうございました。

我々の目的は、誰が抜けても継続できる組織づくりですが、きっと寺崎さんはそれを可能にしてくださることでしょう。でももっと言いたいことは、確かに組織作りも大切ですが「やっぱり人」だ、と思うのです。寺崎さんには、ここに掲載した以外にもたくさんの金言をいただきました。「人生の師匠」です。津田地区の方、何か困ったことがあれば、師匠にご相談ください。